

# サイクリング部会 活動報告書

平成 30 年 4 月 25 日

サイクリング部会長 森 和晴

## 早春に渡良瀬遊水地の風を切る

- 日 時：4 月 10 日（火）快晴、気温最低 4.5℃、最高 20.3℃（近隣佐野市観測点記録）
- コース：道の駅きたかわべ→渡良瀬遊水地サイクリングロード第一、第三調節池、谷中湖周回コース  
約 31 km
- 集合場所：道の駅 『きたかわべ』 駐車場（埼玉県加須市）
- 集合時間：午前 10 時 45 分 / スタート：午前 11 時 00 分
- 参加者：大澤さん、四方さん、下さん、田淵さん、手塚さんご夫妻、飛弾野さん、松本さん、森さん、  
山田の 10 名

### コースルート

- 道の駅きたかわべ 11 時スタート→中央エントランス→第一排水門→越流堤（下流）脇→**新赤麻橋**（鷹見台）  
9 km
- 巴波川**石川橋**→西前原排水機場→**第三排水門**（スカイフィールド 渡良瀬）→西赤麻橋  
12 km 13 km
- 渡良瀬運動公園・**スポーツふれあいセンター**→藤岡遊水池会館・湿地資料館→旧谷中村合同慰霊碑  
17 km
- ウォッチングタワー**→子供広場ゾーン→**東谷中橋**→中の島→北橋→**子供広場ゾーン**→北水門→思い出橋  
22 km 24 km 27 km
- まごころ橋→道の駅きたかわべ ゴール 14 時 30 分  
31 km

### ツーリング概要

■朝から、雲一つない日本晴れ、空が高い！！

早朝から到着しウオーミングアップ万全のメンバー、大丈夫かな？間に合うかな？のハラハラドキドキのメンバー、それでも予定の 11 時ジャストに出発したのであります、流石、サイクリング部会！！

半袖の私は、気温と、多少の緊張感で少し肌寒さを感じながら、先頭を任せられペダルを踏み込むのであります。道の駅の前を走る県道 9 号線を渡ると、一瞬にして景色ががらりと変わります。

『わーっ！！』『凄い！！』メンバーの歓声が響きます。

目の前には谷中湖が広がり、そこから遥か彼方、見渡す限りの平原、湿原が続き、タイムスリップでもしたかの様な風景が飛び込んで、関東地方の首都圏近郊に、こんな処があったのかと思わせる驚きです。

渡良瀬遊水地について少しふれておきます。

渡良瀬遊水地は、栃木、茨城、群馬、埼玉の 4 県にわたる面積 3300ha の広大な面積を有し、洪水調節、都市用水の補給などを目的に設置されています。

緑豊かなヨシ原が特徴で、貴重な動植物が数多く確認されています、これは、遊水地の機能を保持するために、ヨシ原や沼を自然に近い形で残してきたことによるものであり、かつ、低地における自然環境が保全され、まさに『自然の博物館』と言う事ができ、ラムサール条約登録地となっています。

■谷中湖を左に見ながら、平均 20 km/h の速度で早春の（初夏？）風を切ります。

下見走行をしたにもかかわらず、走り始めて間もなく道を間違え！？この先が思いやれる展開に！！

優しいメンバーのお陰で、何とか窮地を脱し、第一排水門からの坂道を下り、ヨシの茂る渡良瀬川の側道をひたすら、最初の休憩ポイントの新赤麻橋・鷹見台へと進む。



新赤麻橋鷹見台にて小休止



スポーツふれあいセンターにて（昼食）

出発からおおよそ 40 分で鷹見台に到着！ほぼ予定通り、順調で、メンバー全員異常なし!!良し!!（ヨシ?）

鷹見台からは、改めて間近に第 2、第 3 調整池が広がり、その雄大さに心惹かれ、疲れも吹き飛ばす。

水分補給、気分転換も十分に、お昼ご飯を楽しみに次の目的地を目指す。

■第二調整池を右に、第三調整池を左手に、菜の花が至る所に咲いているのを見ながら堤防の上をまっしぐら、石川橋手前のヘアピンカーブの坂を下り、再び土手を上がると、そこは菜の花畑に囲まれた黄色の道が続くシンボルロードが待っていました。

ここでは、恒例の、一列縦隊でのメンバー全員の走行動画撮影を、勿論!!やったのであります。

第三排水門で小休止、目の前がバルーンフェスタの会場のスカイフィールドわたらせです、一昨日まで開催されたフェスタは強風で、最終日は中止となった様で、お気の毒です。会場にはセスナ機が駐機していました。

■そろそろおなかも空いてきました、昼食予定のスポーツふれあいセンターを目指し、堤防を降りて、西赤麻橋を渡り、やけにカラスの多い低地をひた走ります。

12 時 40 分頃にスポーツふれあいセンターに無事到着、道の駅でお弁当を買ってきたメンバーも大勢いましたが、全員、隣の『ラーメンショップ』に、迷う事なく!!吸い込まれるかの様に、入って行くのであります。

店主の許しを得て、ラーメンとお弁当を全員完食!!余りの満足に、私はヘルメットを置き忘れそうになり、慌てて取りに戻りました。

■エネルギーも十分充填し、後半の目的地ウオッチングタワーを目指します、ここからはこれまでとは反対方向、南風の向かい風です!! 渡良瀬カントリークラブのコースを左に見ながら、また菜の花畑が近づいてきました。

すると、大沢さんが、『菜の花越しに写真を撮るから!!』と一人先を行ったものの、菜の花畑に埋没!!

どんな写真が撮れたか、撮れなかったかは、後のお楽しみ・・・?

風当たりの強い土手を一気に下ると、広大な低地が広がります、一生懸命ペダルを漕ぐ我々を尻目に、観光バスがスーッと我々の横を通り過ぎて行きました。その後を追って到着、ウオッチングタワーです。

バスの乗客は栃木市役所の新入職員一行で、地元の観光名所の勉強の研修ツアーだった様です。

我々も一緒にガイドのおじさんの説明を聞かせてもらい、生息する『ヨシ』『オギ』『ススキ』の勉強をしたのです?



ウォッチングタワーにて



ゴール 道の駅きたかわべ

■残すは、本日のメインイベント谷中湖周回コース、ラストランです。

遠景では眺めの素晴らしい谷中湖ですが（上空から見るとハートの形をしています♥）、実際走ってみると、ヨシ越しに湖が見える平坦なコースです。生憎、少し水も少なくて残念でしたが、東谷中橋を右折し中道に入ると、矢張り湖を割って走る眺めは格別な印象です。湖のちょうど真ん中に位置する中の島を右折して、北橋を渡り、先程の周回コース入り口の子供広場ゾーンで小休止。西日が湖の水面に反射してキラキラととても綺麗です、誰か二人が湖の岸边に降りていく眺めは、在りし日の青春ドラマの一コマの様に映りました？！

■対岸遠くに見える道の駅きたかわべに向かって、クールダウン、クライマックス走行です。

異常に早く終わった桜は、見る事が叶わず残念でしたが、年度初めてのツーリングとしては、無理なく、楽しく、無事に走れて何よりでした！！

また今回は、下さんが入部初走行となり、新しい仲間の絆が生まれました、これからは益々楽しみです。

さあ、もう直ぐゴール到着です！最後の難所は県道の横断歩道前の、『心臓破りの急坂』です！

皆さん、無事に登れましたか？

楽しいツーリングとなりました！お疲れ様でした！

プランリーダー、文責：山田